

2026スポーツ少年団小学生・中学生大会申合せ事項

高知県空手道連盟

組手競技

種 別		競技時間	得点	メンホー	拳サポーター	ボディーピロテクター	セーフティーカップ	インステップガード・シンガード
小学生	男子	1分	6P差	V以上	小学生用赤・青リバーシブル	着装	小3以上は着装 (男子のみ)	着装
	女子							
中学生	男子	1分30秒	6P差	VI以上	赤・青	着装	着装 (男子のみ)	着装
	女子							

- 防具は全て各自で用意し、(公財)全日本空手道連盟(JKF)承認であること。高体連仕様の防具は不可。
ただし、足防具については、全空連マークと高体連マークの両方が入っている2022年度新製品は使用可とする。
- 試合用赤青帯(JKFマーク付き)は、各自で用意する。
- 小学3年生以上の男子は必ずセーフティーカップを着装すること。(1・2年生男子は監督の責任で判断する)
- 小学生・中学生ともに手技による上段への得点距離は5cm以内とし、接触は許されない。足技に関しては10cm以内とする。中学生の上段への足技はスキンタッチが認められるが、小学生はスキンタッチも認められない。
小学生は、足払い・倒し技も禁止とする。
- 団体組手競技は3人制で行い、2名でも参加可能とする。中学生は、登録された選手のオーダー変更は回戦ごとに自由とする。対戦するチームが双方2名の場合は、オーダーは先詰めとなる。
- テンカウントルールを適用する。

形競技 (フラッグ+得点方式)

5名以下の場合

順位決定戦 (得点)	
小学生	全空連基本形
中学生	全空連第1および第2指定形

6名以上の場合

小学生	①予選ラウンド (フラッグ)		②決勝ラウンド 4名 (得点)
	ゲキサイ 第1、第2	第1指定形	
中学生	ハイアン 初段 ~ 五段	第2指定形	
	ピンアン 初段 ~ 五段	または①でまだ演武していない基本形	
※同じ形を繰返し演武可			
中学生	①予選ラウンド (フラッグ)		②決勝ラウンド 4名 (得点)
	1、2回戦	3回戦以降	
第1指定形		第2指定形	得意形
※同じ形を繰返し演武可		※同じ形を繰返し演武可	①で使用した形も演武可

- 小学生・中学生ともに予選ラウンドはフラッグ方式とし、2名同時演武。(笛の合図で開始)
決勝ラウンド及び順位決定戦は得点方式とし、1名ずつ演武を行なう。
- 同点の場合は、①有効点のうち最低点の高い競技者の勝ち、②有効点のうち最高点の高い競技者の勝ち、
③それでも同点の場合は再演武とする。
再演武の形は、同じ形でも良い。形を変える場合はその回戦で認められた形とする。
- 参加人数が5名以下の場合は、順位決定戦により1度の演武(得点方式)により順位を決定する。
- 団体形競技は個人戦に準ずる。
- 小学1年生(団体形については低学年)については、1つの形で決勝までいけるものとする。

(その他)

- 監督・コーチの服装は、全空連ジャージ(新旧)又は、胸に団体名を明記した白の空手衣とする。
- 監督・コーチはIDカードを身につけること。IDは受付時に配布。大会終了後は本部に返却して下さい。
- 監督・コーチは、参加申込書の団体名の下に名前を明記する事。